

2026.10.05 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会 第4 1回技術部会

業界横断で進めるAI・データ活用 ～金融から製造業社会インフラへ、協調領域をつくる～

岡田 拓郎

一般社団法人金融データ活用推進協会（FDUA）代表理事

製造業社会インフラAI協会（MIAI）事務局長 理事



アジェンダ

1. 金融業界で進めてきた、業界横断のAI・データ活用

ー 金融データ活用推進協会（FDUA）における「事例・人材・標準化・コミュニティ」の取り組み

2. AI活用を支える“業界ガイドライン”のつくり方

ー 「金融生成AIガイドライン」から得られた知見と、継続的にアップデートする仕組み

3. 金融から製造業・社会インフラへ

ー 製造業社会インフラAI協会（MIAI）を通じた業界横断の知見・仕組みの展開

金融データ活用推進協会（FDUA）

Mission

金融データで
人と組織の可能性を
アップデートしよう

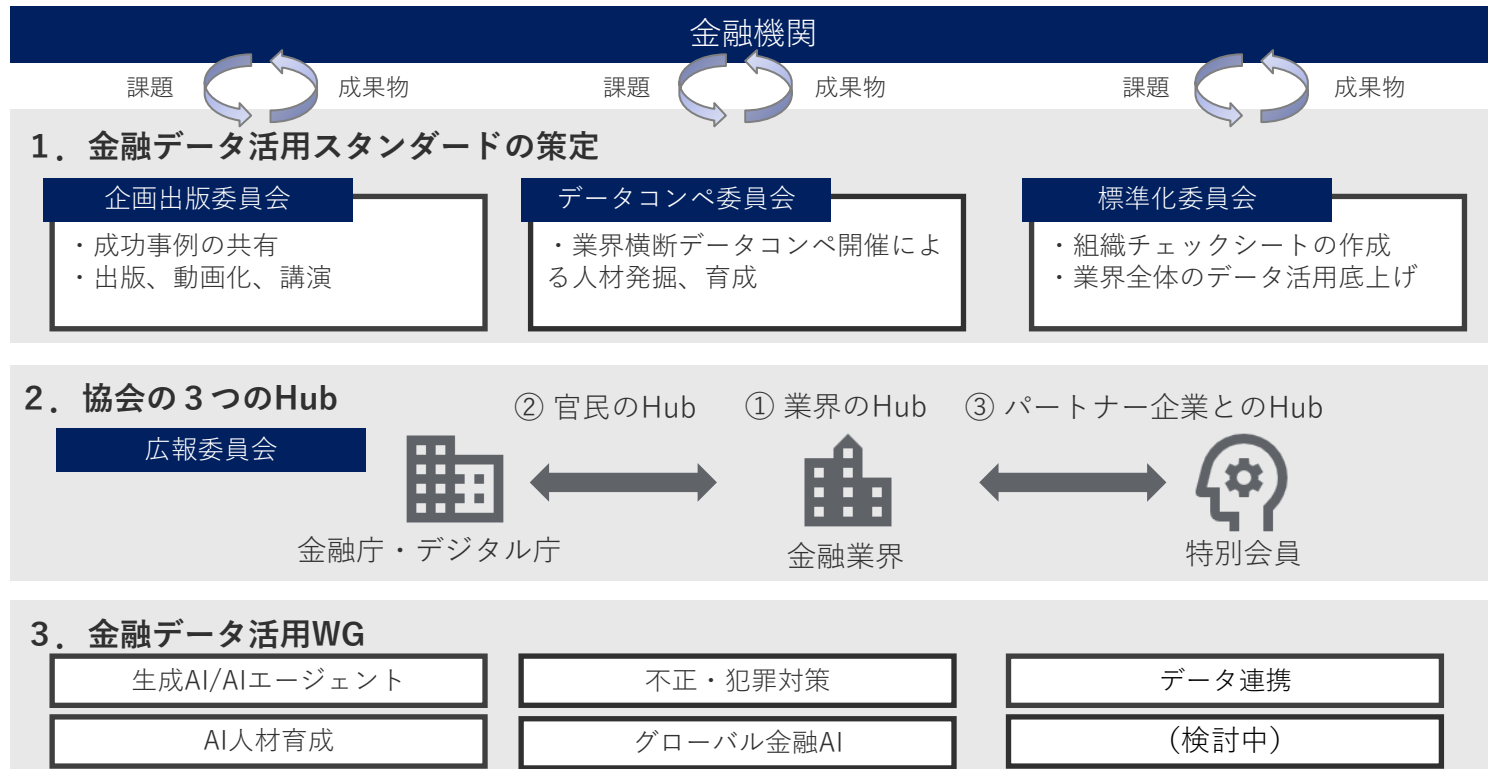
金融機関のAI・データ活用の実務者集団。委員会4つ／WG5つを通じて業界横断で活動

現状

- ・各社バラバラの取組み
- ・金融業界の競争力低下

目指す姿

- （1）非競争領域は業界横断（成功事例、人材育成、標準化）
- （2）個が活躍できる横の繋がり
- （3）具体的なWGの設置、推進



金融データ活用推進協会（FDUA）の概要

会員数：**538 社** ※2026年8月時点

【内訳】大手金融機関等：**130 社**

地方銀行：**70 行** 信用金庫、信用組合：**70 行庫**

AIスタートアップ、コンサル会社等：約 250 社

委員会&WG・成果物



Meetup開催



※2026年5月18日(月)しんきんMeetupの様子

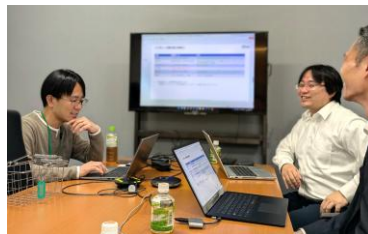
理事&監事、顧問 ※2026年8月時点

代表理事	岡田 拓郎
理事 / 事務局	佐藤 市雄 SBIホールディングス
理事	藤咲 雄司 三菱UFJフィナンシャルグループ
理事	新田 孝明 みずほフィナンシャルグループ
理事	白石 寛樹 三井住友カード
理事	田中 聡 三井住友信託銀行 兼 Trust Base
理事	齋藤 裕美 アフラック生命保険
理事	楠谷 勝 東京海上ホールディングス
理事	西端 恭一 JPX総研
理事	丸林 健二 池田泉州ホールディングス
監事	山本 俊之 西村あさひ
顧問	河合 祐子 高知銀行
顧問	野口 竜司 ELYZA
顧問	大久保 光伸 財務省 兼 デジタル庁
顧問	田中 慎一 みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
顧問	松橋 正明 セブン銀行
卒業関係者	中島 淳一 元金融庁長官

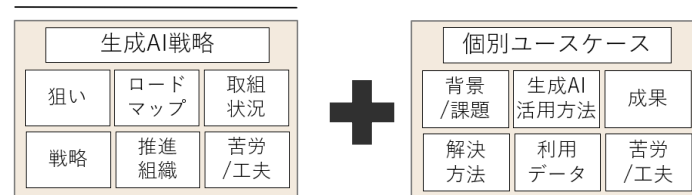
金融AI成功パターン生成AIユースケース集（第2.0版）

- 生成AI活用が進んでいる金融機関に戦略と取組み事例をヒアリング、ユースケース集として整理

金融機関	生成AIユースケース		金融機関	生成AIユースケース	
セブン銀行	生成AI利用環境「7Bank-Brain」	レベル2	アフラック生命	代理店向け生成AIシステム「アフラックAIパートナー」	レベル3
東京海上火災保険	保険領域に特化した照会応答システム「AI Search Pro」	レベル2	みずほFG	面談記録作成AI「Wiz Create」	レベル2
大和証券	生成AIを用いた電話自動応対	レベル3	三井住友銀行	AI-CEO	レベル2
三井住友カード	メール回答業務へのRAG適用（コンタクトセンターAI）	レベル2	SBI HD	AIエージェントアプリ	レベル2
野村HD	広告審査AI	レベル2	三井住友海上	社内生成AIチャット環境「MS-Assistant」	レベル2
三菱UFJ銀行	システム開発のコード生成・変換	レベル2	オリックス銀行	コールセンター交渉履歴作成の効率化	レベル2



成果物の構成



他の金融機関は、AI・データをどう活用している？

— 金融AI成功パターン100MAP & ユースケース集 —

I. MAP | 金融業界にはどんな事例がある？

自金庫でも取り組みそうなテーマを探せる！

金融機関各社のAI・データ活用状況を一覧化

業務・テーマ・活用技術・活用データなどの切り口から、各社の取り組み状況を俯瞰することができます

- ✓ **業務領域**（営業・審査・リスク管理など）
- ✓ **テーマ**（顧客分析・業況予測・不正検知など）
- ✓ **技術・データ**（機械学習・生成AI・取引データなど）

テーマ事例	A銀行					
	A銀行	内製/外部委託	技術	ソリューション	難易度	費用対効果
DM送付先抽出	運用中	内製	機械学習	—	★★	★★★
テレマ対象抽出	PoC中	外部委託	機械学習	AI分析基盤	★★	★★
営業先ターゲティング	運用中	内製	機械学習	—	★★	★★★
クロスセル・アップセル分析	検討中	外部委託	機械学習	CRM/分析基盤	★★★	★★
業況変化予測	運用中	内製	機械学習	—	★★★	★★★

II. ユースケース集 | 実際に、どのように取り組んでいる？

自金庫でどう実現するか？

気になる事例について、取り組みの背景・課題から、取組内容、利用したデータ、成果、導入時の工夫まで～

背景・課題 | 分析テーマ | 利用データ | 成果 | 苦労／工夫

例) 八十二長野銀行「取引データを用いた業況変化予測モデルの構築」

過去1.5年分のトランザクションデータを主に活用し、中小企業の業況変化を予測

するモデルを構築。モデルの利用開始から1年で、極度更改票議の時間を25%削減。

株式会社八十二銀行

業況変化予測モデル

案件概要	成果
【背景/課題】 - AIの活用により解決が可能な非定常業務が職員分野で多量にあった。 - 特に、業況変化を予測する部分や、更改票議業務に効率化できる部分が多量あり、AIでの解決を考えた。	【分析テーマ】 6ヶ月以内に各顧客（法人/個人事業主）の業況が変化するかどうかの確率を予測
【効果】 - 営業担当の売上と債管理、極度更改票議業務の作業負担軽減を自認す。 - 営業部へリストを配信し、営業部への気づきを生む。	【苦労/工夫/業務特性など】 財務データを使用しないことで、プライバシーに業況変化の把握を妨げないよう配慮した。

※一般公開可能な事例を掲載しています

従来型AI
の成功集
日経BP
2023/2



FDUA CONNECT

会員向けにWeb版をリリース



事例を
検索して探す



MAP・
ユースケース集を
閲覧



自社の取組みの
ヒントに

こちらから
アクセス！



<https://standardization.fdua.org/>

※会員限定サイトとなります

【金融庁共催】金融データ活用チャレンジ（第4回）

- ・ 地域金融機関におけるNew Heroの発掘、育成のため、業界横断のデータコンペティションを開催
- ・ 表彰式は金融業界最大のイベント、「FIN/SUM 2026」内で開催（2026/3/6）

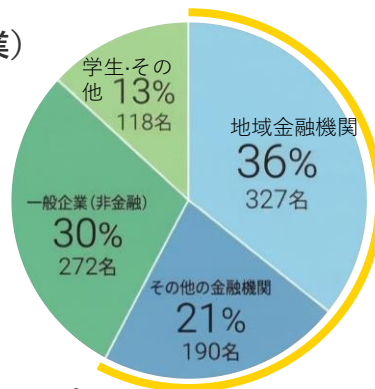
主催 金融庁・金融データ活用推進協会（FDUA）

テーマ 生成AIで実現する経営支援～提案書作成チャレンジ～

データ 財務データ&企業属性データ（仮想企業）

開催期間 2026年1月14日(水)～2月11日(水)
表彰式 3月6日(金) 12:30～13:20

委員会 三菱UFJフィナンシャル・グループ
みずほフィナンシャルグループ
三井住友フィナンシャルグループ



参加者 **907名**（内地域金融機関職員 **327名**）※前回176名

参加金融機関 **113行**（内地域金融機関 **56行庫**）

金融機関（57%）



最優秀賞	桃井 大輔	個人参加	東京海上日動火災保険株式会社代理店 (有) エム・エム・アイプランニング
優秀賞	近藤 大貴	個人参加	信金中央金庫
優秀賞	星野 泰啓	個人参加	非公開
特別賞	相澤 尚伸	個人参加	株式会社みずほフィナンシャルグループ
特別賞	草嶋 良介	個人参加	信金中央金庫

「金融データ活用チャレンジ」が目指すもの

- 実践的な金融課題への挑戦を通じて、金融業界におけるAI・データ活用人材を発掘・育成する
- 個人の挑戦を組織の人材育成へ、組織の取組みを金融業界全体の変革へ

1

人材を発掘する



組織内に眠る"New Hero"に
光を当てる

- 年次・所属・役職を問わず挑戦できる機会を提供
- 客観的な成果を通じて、意欲やスキルを可視化
- データ部門に限らない人材の可能性を発掘

2

人材を育成する



実践的な金融課題を、
学びと成長の機会にする

- 金融実務に即したテーマでデータ活用を実践
- 初学者から専門人材まで幅広い学習機会を提供
- AI・データ活用人材の裾野を拡大

3

業界を横でつなぐ



金融業界全体の知見・
ネットワークを広げる

- 金融機関・関連企業の垣根を越えた交流
- 解法・ノウハウの共有による相互学習
- 金融業界全体のデータ活用力向上に貢献

一般社団法人金融データ活用推進協会 主催
第2回金融データ活用チャレンジ表彰式

FINSUM 2024

FDUA

2024.3.8 (金) 12:30-13:30 HALL A

後援 金融庁 デジタル庁

受賞者プロフィール:

- 岡田 祐郎 (代表取締役社長)
- 中島 淳一 (代表取締役)
- 油布 志行 (代表取締役)
- 安藤 貴彦 (代表取締役)
- 山本 忠司 (代表取締役)
- 江崎 敏夫 (代表取締役)
- 西藤 秀 (代表取締役)
- 渡邊 進行 (代表取締役)
- 森田 秀志 (代表取締役)
- 佐藤 昌 (代表取締役)
- 横 敏文 (代表取締役)

金融庁・金融データ活用推進協会 (FDUA) 主催
第3回金融データ活用チャレンジ表彰式

FINSUM 2025

JAPAN FINTECH WEEK 2025

2025.3.7 (金) 12:30-13:30 HALL A

FDUA

受賞者プロフィール:

- 岡田 祐郎 (代表取締役)
- 中島 淳一 (代表取締役)
- 宮崎 幸一郎 (代表取締役)
- 原田 利紀 (代表取締役)
- 青木 伸夫 (代表取締役)
- 安藤 貴彦 (代表取締役)
- 若田 康平 (代表取締役)
- 西藤 秀 (代表取締役)
- 小川 裕雄 (代表取締役)
- 高橋 大介 (代表取締役)
- 今井 泰樹 (代表取締役)
- 若手 雅介 (代表取締役)
- 渡邊 進行 (代表取締役)
- 森田 秀志 (代表取締役)

金融庁・金融データ活用推進協会 (FDUA) 主催
第4回金融データ活用チャレンジ表彰式

FINSUM 2026

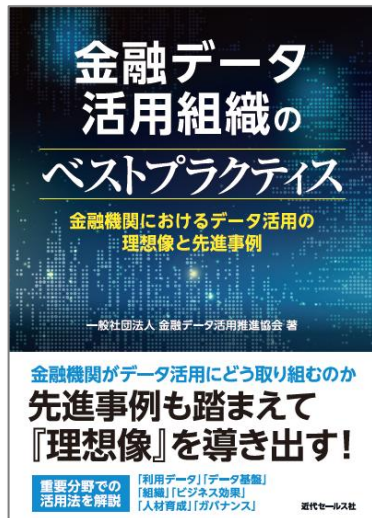
FDUA

受賞者プロフィール:

- 西藤 秀 (代表取締役)
- 中島 淳一 (代表取締役)
- 油布 志行 (代表取締役)
- 安藤 貴彦 (代表取締役)
- 山本 忠司 (代表取締役)
- 江崎 敏夫 (代表取締役)
- 西藤 秀 (代表取締役)
- 渡邊 進行 (代表取締役)
- 森田 秀志 (代表取締役)
- 佐藤 昌 (代表取締役)
- 横 敏文 (代表取締役)
- 西藤 秀 (代表取締役)
- 渡邊 進行 (代表取締役)
- 森田 秀志 (代表取締役)
- 佐藤 昌 (代表取締役)
- 横 敏文 (代表取締役)

金融データ活用組織のベストプラクティス

- 金融機関におけるデータ活用の標準化を推進し、継続的なレベルアップを支援



金融データ活用組織の
ベストプラクティス
(近代セールス) 2026年2月発刊

第1章

金融データ活用組織チェックシート

- ① チェックシートの概要10
- ② チェックシートによるセルフチェック
- ③ セルフチェック結果の分析16

第2章

金融データ活用組織に必要な対応：各論

- ① 活用レベル：利用データ
 - 望ましい姿（理想像）
 - 先進事例①株式会社八十二銀行
 - 先進事例②三井住友海上あいおい生命保険株式会社
- ② 活用レベル：組織
 - 望ましい姿（理想像）
 - 先進事例①日本生命保険相互会社
 - 先進事例②三井住友カード株式会社
- ③ 活用レベル：ビジネス効果
 - 望ましい姿（理想像）

- 先進事例①株式会社セブン銀行
- 先進事例②株式会社山梨中央銀行

④ インフラレベル：データ基盤

- 望ましい姿（理想像）
- 先進事例①株式会社百五銀行
- 先進事例②株式会社北海道銀行

⑤ インフラレベル：人材育成

- 望ましい姿（理想像）
- 先進事例①株式会社三井住友銀行
- 先進事例②株式会社横浜銀行

⑥ インフラレベル：ガバナンス

- 望ましい姿（理想像） 235
- 先進事例①SBIホールディングス株式会社
- 先進事例②三井住友ファイナンス&リース株式会社

第3章

FDUAアワード

- ① FDUアワードの概要
- ② FDUアワード受賞企業の特徴
- ③ 総評

FDUAアワード2026

- 金融データ活用の模範となる金融機関のAI・データ活用の取り組みを表彰

受賞企業

大賞		三菱UFJ信託銀行株式会社
データ活用賞		株式会社オリエントコーポレーション
データ活用賞		株式会社横浜銀行
特別賞（生成AI活用）		アフラック生命保険株式会社
特別賞（地域貢献）		株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ

審査員

中島 淳一	日本取引所自主規制法人 理事長
山本 俊之	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士 一般社団法人金融データ活用推進協会（FDUA） 監事&生成AIWG アドバイザー
白石 寛樹	三井住友カード株式会社 執行役員 データ開発本部長 一般社団法人金融データ活用推進協会（FDUA） 標準化委員長
中村 義幸	株式会社セブン銀行 AI・データ戦略部長 一般社団法人金融データ活用推進協会（FDUA） 標準化委員長代行
岡田 拓郎	一般社団法人金融データ活用推進協会（FDUA） 代表理事
佐藤 市雄	一般社団法人金融データ活用推進協会（FDUA） 理事&企画出版委員長



2026年5月26日付、三菱UFJ信託銀行「金融データ活用推進協会主催『FDUA アワード 2026』における『FDUA アワード大賞』の受賞について」https://www.tr.mufig.jp/ippnan/release/pdf_mutb/260526_2.pdf

Meetup | 全体 & 地域 & 業態別～横の繋がりを創る～

【全体Meetup】

#	日程	#	日程
第1回	2022年9月26日	第7回	2024年4月15日
第2回	2022年12月23日	第8回	2024年7月23日
第3回	2023年3月27日	第9回	2024年11月6日
第4回	2023年6月28日	第10回	2025年6月24日
第5回	2023年9月21日	第11回	2025年10月22日
第6回	2023年12月20日	第12回	2026年6月24日



【地域Meetup】

#	場所	#	場所
第4回	仙台	第8回	千葉
第5回	福岡	第9回	高知
第6回	山梨	第10回	浜松
第7回	大阪	第11回	沖縄



【業態Meetup】

- ・ 保険Meetup
- ・ 証券Meetup
- ・ カードMeetup
- ・ アセマネMeetup
- ・ 信託Meetup
- ・ リースMeetup
- ・ 若手DSMeetup
- ・ しんきんMeetup



金融生成AIガイドライン（第1.2版） | 生成AIWG

- 金融機関が生成AIを安全かつ積極的に活用するため、業界横断で実務上の論点・対応を整理。
- 政府・国際的なAI原則等を踏まえ、金融機関に求められるガバナンスやリスク対応、活用事例を体系化。

国際的なAI原則・ガイドライン

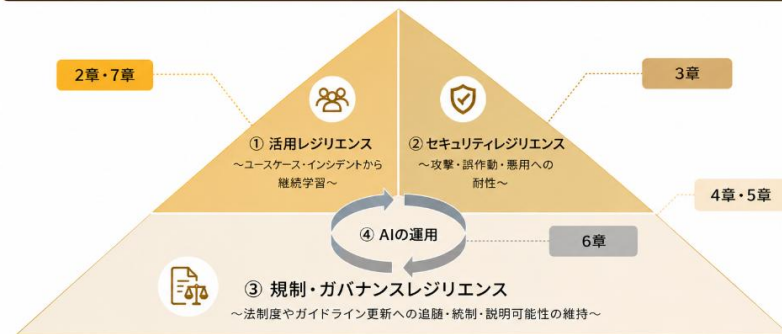
政府のAI政策・ガイドライン

業態別のガイドライン【金融生成AIガイドライン】

各金融機関のAIガバナンス・社内ルール・実務

AIレジリエンス：金融機関における生成AI活用を止めない姿

～変化に適応し、組織としてAI活用を安全・適切に継続できるしなやかな強さ～



【ガイドラインを構成する4つのポイント】

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 01 活用・高度化 | 金融機関における活用事例と、更なる活用に向けた論点 |
| 02 リスク管理 | 生成AIのライフサイクルを踏まえたリスクへの対応 |
| 03 ガバナンス | 金融機関に求められるAIガバナンス態勢 |
| 04 法律・規制 | 生成AI活用時に考慮すべき法令・規制 |



約 4,000
DOWNLOADS

公開 & 書籍化 & 継続改訂でガイドラインを金融の実務基盤へ

- 公開から金融機関や官民の対話を経て、実務から得た学びを次の版へ連続的に反映
- 課題やの要望、技術進展や規制動向等に基づく継続的なアップデートにより、鮮度ある情報を提供

2024.05

1



ハンドブック公開

現場で使える
実装知の展開

2024.08

2



ガイドライン公開

金融機関向けの
共通論点を提示

2024.12

3



統合・書籍化

認知と参照性を
高める形へ

2025.7

4



第1.1版

AIエージェントと
AIガバナンス

2026.08

5



第1.2版

AIレジリエンス

更新の駆動力

金融庁・日本銀行・経済産業省・デジタル庁との対話 × 金融機関の実装知 × 技術・事案の変化

ガイドラインを一度作って終わるのではなく、変化を取り込み続ける運用そのものが価値になる

「金融生成AIガイドライン（第1.2版）」の更新テーマ

- 外部動向と金融機関の声から、1.2版では金融機関が目指すAI活用の姿として“AIレジリエンス”をテーマにガイドラインをアップデート

社会や
政府・
関係
省庁

AI活用の「チャレンジ
しないリスク」の認
識と、積極的な活用
を求めている。
出所：金融庁「AIディスカ
ッションペーパー（1.1版）」
を基にFDUA作成

金融
機関

フロンティアAI等の
急激な技術進展、法
規制、ユースケース
等のあらゆる変化に
適応し、AIの活用を安
全かつ適切に継続で
きる姿を目指してい
る。

AIレジリエンス：金融機関における生成AI活用を止めない姿

～変化に適応し、組織としてAI活用を安全・適切に継続できるしなやかな強さ～



生成AI/AIエージェントのリスク

2.2.1 一般的な生成AIのリスク



既存リスク（漏えい／ハルシネーション／プロンプトインジェクション／著作権／不適切入出力）をRAG・エージェント文脈で更新

新規に追加



特定AI・外部サービスへの
依存（2.2.1.7）



シャドーAI・野良AI
（2.2.1.8）



AI悪用・なりすまし
（2.2.1.9）

2.2.2 特にAIエージェントで重要なリスク

新設



想定外動作



処理のブラックボックス化



責任所在・分界点の不透明化



乗っ取り
（エージェントジャック）



複数エージェント間の相互作用

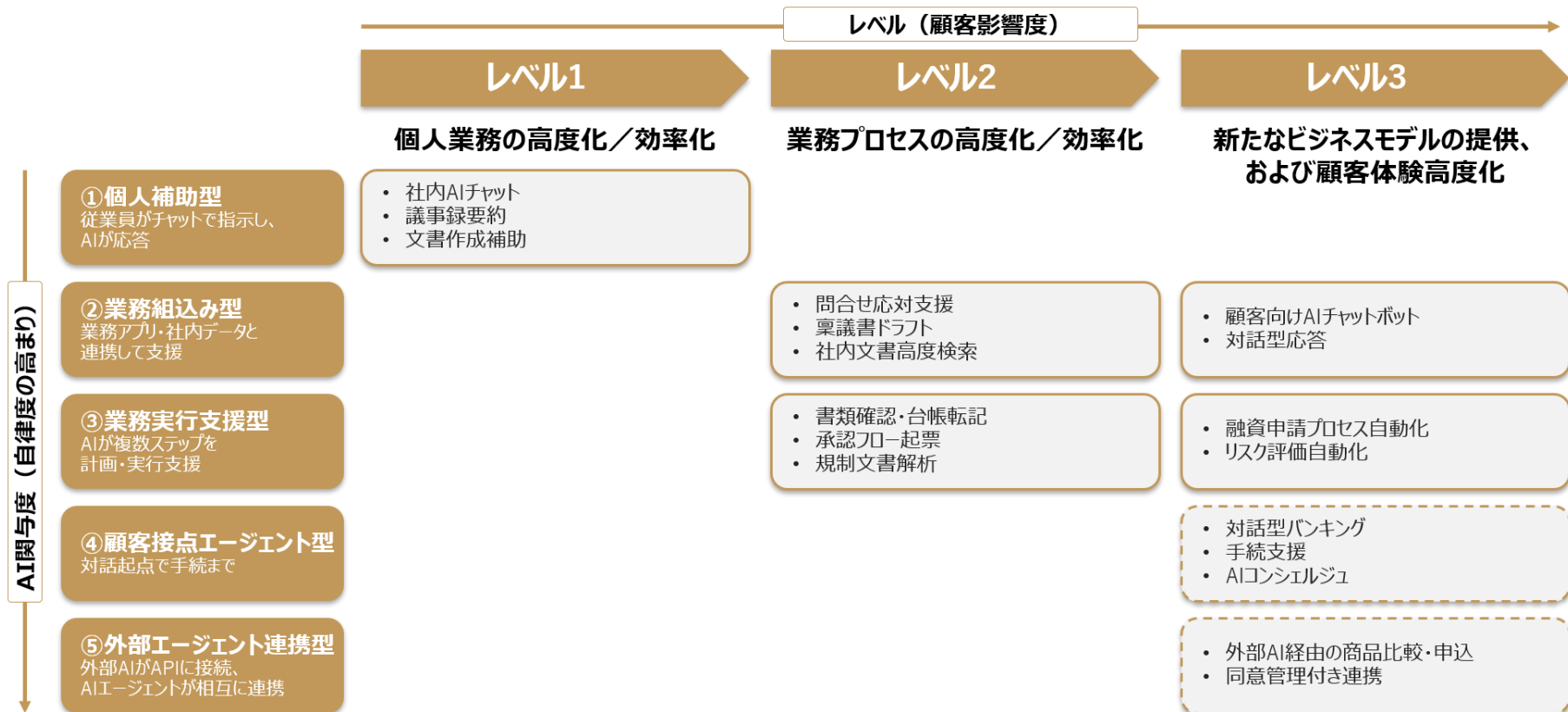


接続・権限・実行リスク



評価・検証（レッドチーミング等）と確認観点の一覧（表2.2.2-1）／具体的な統制は第3章・第6章へ接続

金融機関における生成AI活用事例のレベルとAI関与形態

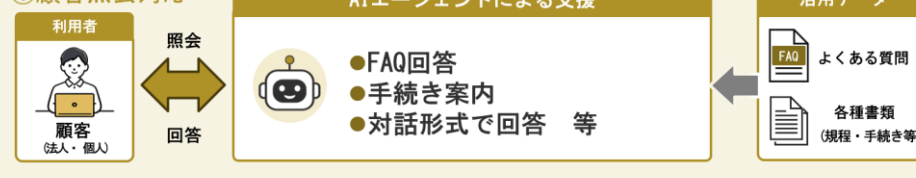


生成AIを活用した地域金融機関におけるDX化に向けた実証研究事業

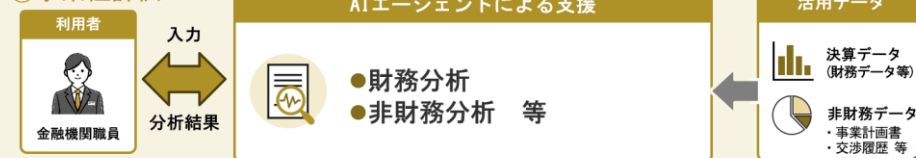
- ・ 生成AIユースケースの実装・実証を起点に、リスク評価・軽減策を組み込んだ導入枠組みを体系化。
- ・ 成果を公表することにより、地域金融機関における健全かつ円滑な生成AI利活用の基盤を整備する。

1. 生成AIユースケースの実装

①顧客照会対応



②事業性評価



2. リスク評価・軽減策等導入

当協会「金融生成AIガイドライン」や最新の法令等を踏まえ、生成AI活用に伴うリスクの評価を実施するとともに、**リスク軽減に資する対策を具体化する。**

<主な生成AIのリスク(参考)>

- ・ 情報漏洩（個人情報・機密情報）
- ・ ハルシネーション
- ・ 悪用（プロンプトインジェクション等）
- ・ サードパーティ依存
- ・ 知的財産権等の権利侵害

3. ガイドライン構築及び横展開準備

本実証の成果物として、「AIエージェント導入ガイドライン」、「開発資材（オープンソース、設計書等）」、「生成AI×地域金融機関のユースケース集」を作成する。これらを全国の地域金融機関へ横展開することで、比較的低コストで生成AIを実装可能な環境の整備・導入支援を行う。

AIエージェント導入ガイドライン【2026年度AI実証研究】

- ・ 実証実験の知見を踏まえ、ユースケース導入やリスク対応の考え方を整理。
- ・ AIエージェントの健全な導入・利活用を促進し、業務効率化を通じた「地域金融力」の強化を目指す。

背景・目的	・ 地域金融機関では、生成AI技術の導入は金融機関内部の業務効率化を中心として一定程度進んでいる一方、対顧客向けサービスへの生成AIの利活用はハルシネーションのリスク等もあり、限定的な範囲にとどまる →地域金融機関が、AIエージェントの導入プロジェクトを推進できるガイドラインが必要		
位置づけ	 総務省・経済産業省 「AI事業者ガイドライン」	 FDU A 「金融生成AIガイドライン」	 本ガイドライン 「AIエージェント導入ガイドライン(仮)」
	・ 業界横断向け ・ AI全般を扱う	・ 金融業界向け ・ 生成AI全般を扱う	・ 金融業界向け ・ AIエージェント個別プロジェクトを扱う
想定読者	・ AIエージェントを導入・利活用する金融機関のプロジェクト推進部門やDX推進役員		
ガイドライン構成	 第1章 ガイドラインの基本的考え方  第2章 AIエージェント導入態勢  第3章 導入プロジェクトにおける実施事項  第4章 AIエージェント導入にかかる法的留意事項		

日本の製造業社会インフラに、AIで新たな力を

1. これまで (FDUAでの取組み)

金融業界で培った
AI・データ活用の知見・仕組み



事例の共有

先進事例の発掘・発信



組織・人材育成

人材育成・
スキル標準の整備



ガイドライン策定

AI活用の
指針・標準の整備



業界横断の
コミュニティ形成

企業・団体の
つながり創出

2. MIAIの設立

金融で培った知見を、
製造業・社会インフラへ



一般社団法人

製造業社会インフラAI協会 (MIAI)

つなぎ、共に創り、社会に実装する

産業 × AI で、持続可能な未来を



製造業



AI



社会
インフラ

3. これから (目指す姿)

関西から日本全土へ、
そして世界へ



関西
から始動



製造業の競争力向上



社会インフラの
安全・持続可能性



フィジカルAIなど
新たな価値創出

多様なステークホルダーの参画



行政
(国・自治体)



製造業・インフラ事業者
(ユーザー企業)



IT・テクノロジー企業
(ベンダー・スタートアップ)



大学・研究機関



業界団体・コミュニティ
(FDUA ほか)

行政と民間の橋渡し役として、産官学の共創を促進します

【MIAI】 製造業・インフラAI勉強会 & Meetup (過去開催)

#	日程 & 会場	登壇 & 事例紹介
第1回	2026年3月12日 (木) エナレッジ グランフロント大阪	【DX・AIが創る次の産業のカタチ】 - 上田 晃穂 氏 (関西電力) - 太古 無限 氏 (ダイハツ工業) - 木村 紘太郎 氏 (経済産業省)
第2回	2026年5月20日 (水) MULTI SPACE グラングリーン大阪	【現場×AIで実現する、産業変革のリアル】 - 山田 一郎 氏 (村田製作所) - 松田 篤史 氏 (西日本旅客鉄道) - 片岡 基記 氏 (ユウホウ) - 粟津 景司 氏 (A2Z)
第3回	2026年7月27日 (月) MUIC Kansai	【共創×AIで加速する、産業変革の実装】 - 岡村 智仁 氏 (大阪ガス) - 和家佐 有宇 氏 (パナソニック) - 中津 健太 氏 (京セラドキュメントソリューションズ)
第4回	2026年9月16日 (水) MUIC Kansai	【実践×AIで広がる、現場改革の成功事例】 - 谷 浩紀 氏 (大塚化学) - 橋本 英彦 氏 (江崎グリコ) - 小川 幹雄 氏 (DataRobot Japan) - 宇田川 徹 氏 (内閣府地方創生推進事務局) - 永野 志保 氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報経済課)
第5回	2026年11月30日 (月) MUIC Kansai	記者発表会 (詳細 & 申込) https://techplay.jp/event/1000472



(ご参考) 【MIAI】 製造業・インフラAI勉強会 & Meetup



主催：製造業・インフラAIコミュニティ(後援：大阪府 商工労働部 中小企業支援室、協力：大阪商工会議所)

【MIAI】第1回製造業・インフラAI勉強会 & Meetup DX・AIが創る
次の産業のカタチ

【MIAI】第1回(2026年3月12日(木)) <https://goodway.co.jp/report/27598>



主催：製造業・インフラAIコミュニティ(後援：大阪府 商工労働部 中小企業支援室、協力：大阪商工会議所)

【MIAI】第2回製造業・インフラAI勉強会 & Meetup 現場×AIで実現する
産業変革のリアル

【MIAI】第2回(2026年5月20日(水)) <https://goodway.co.jp/report/30932>



製造業社会インフラAI協会（MIAI）の取り組み

- ・ 理事&会員皆さまとの委員会活動を通じて、現場の実践知を集約し、製造業・インフラのAI活用を業界全体で前進

01 企画出版委員会

（委員長）関西電力

（委員長代行）一般会員 & DataRobot

- ① 「社会産業AI成功パターン」の出版
各企業&業態のAI活用事例&実践ノウハウを成功パターンとして体系化&形式化し、実践知を業界へ展開する
（2027年3月日経BPより出版予定）

② …



02 標準化委員会

（委員長）ダイハツ工業

（委員長代行）一般会員

- ① 表彰制度「MIAIアワード」の運営
製造業社会インフラにおける優れたAI活用や先進的な取り組みを発掘&表彰
- ② 勉強会 & Meetupの運営
実践者&企業に光を当て、成功事例を広く発信、次の挑戦と共創を生み出す



03 官民連携委員会

（委員長）理事企業から募集

（委員長代行）一般会員 & 特別会員

業界と行政の橋渡し役として、現場の課題・ニーズを政策・制度へつなげる。
官民で業界共通のAI活用課題を議論し、解決に向けた環境整備を推進

国土交通分野のAI活用に向けた提言 & まとめ

① 業界特化型ガイドラインをつくる

- ・ 金融で蓄積したガイドライン策定・更新の仕組みを横展開
- ・ 建設・不動産、運輸・鉄道など、業界固有の課題・リスクを踏まえたガイドラインへ。

② ユースケースを集め、人材を育てる

- ・ 各社に点在するAI活用事例を業界横断で収集・体系化
- ・ 成功事例・失敗事例を共有するとともに、実践型の人材育成につなげる

③ 官民・企業横断のコミュニティをつくる

- ・ 企業・業界団体・行政が継続的に対話できる場を形成
- ・ 非競争領域の課題や知見を共有し、業界全体でAI実装を前に進める

